

イメージの神戸

⑦

斉藤 智

（造形作家）



さいとう ちとし

一九三六年東京生まれ 七二年ジャパン・アート・フェスティバル優秀賞 七三年サンパウロビエンナーレ出品
七五年ジャパン・アート・フェスティバルグランプリ賞
などを受賞 現在神戸大学助教授 垂水区在住

昼時の海は一寸まぶしいけれど、明方のそれは格別です。といっても飲みすぎて気分が悪くふと眼をさました時ぐらいで、めったにお目にかかれないのですが……。なまけものの僕にとって神戸は山よりは海のイメージです。いつのまにか十年余り、第二のふるさtoになりつつある神戸で、窓から海のみえるところをどこかとおもっていたら、海しかみえないところに住むことになり、もう四年近くになります。

釣ってきたテンコチのサシミで友人と飲む時など、対岸まで自分の庭のつもりになって、話は大きくなりはずんでしまします。そんな時、現代美術館の一つもこの街にあったら見事なこの自然とどんなコントラストをみせてくれるかなど……。沿岸に住んでいると一年一年海の透明度のますのをつくづく実感します。それに比べて国際都市神戸の街中は、ますます大きくふくらみ、神戸らしさも失ないかけ、汚染度は反比例しているのでは……。など。

ともかくも明日の神戸のオアシスを求めたいのです。



神戸のディテール

Detail of KOBE 〈52〉

石坂 春生

写真／杉尾友士郎







見つめられる毛皮



左：スウェードムートンベスト
こんなベストで翔んでみない？
(ベニーオリジナル 98,000円)
紳士用(80,000円)もございます

中：木枯しの中、毛皮のぬくもりが、二人をそっと包みます。
共にフランス製

右：ライニングがラム、カラーとカフスがフォックスのレザーコート。レザーは特殊加工で雨も平気です。おしゃれな街着に(ベニーオリジナル)

ベニー毛皮店のお約束

- ★最も良い原皮を使用する。
- ★デザイン、素材、いずれも海外との交流を計り最新のファッションを皆様にお届けします。
- ★よりよいカッティングによって、着やすさとシルエットの美しさを提供します。
- ★しっかりした丁寧な縫製技術によって、型くずれない気品高い毛皮であることをお約束。
- ★良心的な適正価格で販売いたします。
- ★クリーニング、修理、夏期保管(保管用毛皮専門低温倉庫完備)盗難火災保険、によって品質の保証とアフタケアの完全を期します。

高級毛皮総合保険
専用低温保管倉庫完備

20
創立20周年

ベニー毛皮店

本店 神戸市葺合区御幸通8 国際会館1F
TEL (078) 221-3327
支店 神戸市生田区三宮町1-5-2
サンロイヤル神戸7階
サンブラザビル TEL (078) 332-4661



Boutique **aoi** Kobe

●センター街☎321-5120 ●スタイルパレス3F☎391-3985 ●神戸大丸サロンド・グウ4F☎331-8121 (大代表)

EUROPEAN ELEGANCE



★営業時間／A.M.11:00～P.M.8:00

★定休日／月曜日

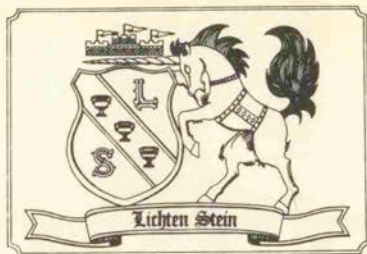
Vivi
FOR TRUTH + FASHION VIVI

神戸市灘区篠原本町1丁目7-1メーブル六甲1F (〒657) PHONE: 神戸 (078) 882-0111

10月 目次

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帖です

- 表紙/小磯良平
セカンドカバノ山本文彦
- 9 神戸っ子/佐々木千明/花柳五三豊
13 ある集い/神書会
15 コウベスナック
16 イメージの神戸/つ〜/斎藤 智
17 神戸のディテール/62〜/石坂春生/カメラ・杉尾友士郎
27 わたしの意見/貝原六一
29 随想/竹内広光/櫻 忠/安藤忠雄
32 ある集いその足あと/神書会
34 私の交友録/4〜/伊藤慶之助
36 神戸商科大学と神戸/3〜/高木正雄
38 私の長谷川三郎論/乾 由明
40 インタビュー/芝居の姉妹は役者な/千田京也
44 トアロードを考える/南北の流れをスミースに
47 経済ポケットジャーナル
- 特集 異人館のある風景**
- 49 ④インタビュー/風景館の作家杉山善法
52 ②北野町今昔/林田重五郎
58 ③北野ガイド
62 ⑤北野町界隈地図/松岡寛一
67 技術ジャーナル/②〜/諸岡博雄
68 ノコの華麗なる挑戦/6〜/諸岡に。シンソン阿波踊り/小山内里子
72 話題のひろは⑧の会
74 ④コウベファッションフェア'77
80 コウベファッションスポット
84 アンド&神戸/21〜/入江若葉
88 モードメルヘン/10〜/篠原順子
107 神戸の催し物ご案内/10月
108 人間模様(第二十一回)/河口龍夫/文・重森 守
113 神戸の集いから
114 動物園飼育日記/14〜/亀井一成
118 神戸を福祉の町に/46〜/橋本 明
120 ファッションレポート/酒井春海
124 KFS ニュース
127 トラベルコーナー/トーク&トーク
128 かわいそうなアリス/10〜/岡田 淳
130 淀長立見席/68〜/淀川長治
132 女体百景/62〜/細川 董
134 ぴつといん
137 神戸百店会だより
138 ポケットジャーナル
142 連載小説 心象風景/3〜窓/秋吉 好/絵・小西保文
148 連載小説 シールブラウンの神々/5〜/田藤 新/
絵・松本 宏
166 アルファベットのベニユー/G〜/新井 満・石坂春生
168 海船港/デジコンサートにはヨットで
カメラ・米田定蔵/藤原保之/橋本英男/刃金利男/速水 亨
目次作品・構成/丸本 耕



メニュー

ドイツ風ソーセージ盛合せ..... 600
にしのロール酢漬..... 450

青豆スープ..... 400

鮮魚料理..... 1,200
伊勢えびのアメリカントマトソース..... 1,500

ドイツ風仔牛肉料理..... 1,400
ドイツ風ワイン漬牛肉の煮込み... 1,800
ドイツ風豚脛肉のボイル..... 2,800
ドイツ風牛生肉のステーキ..... 3,000
ベッパースステーキ..... 3,800
ステーキディナーコース..... 5,000



営業時間

12:00 a.m. ~ 3:00 p.m.

4:30 a.m. ~ 9:30 p.m.

ティータイム

2:00 P.m. ~ 4:00 P.m.

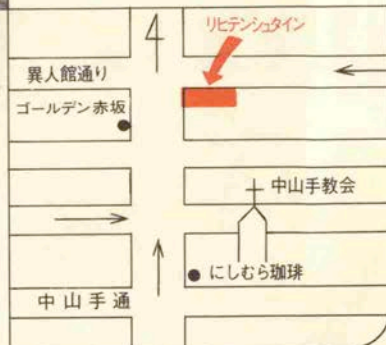
水曜定休



Lichten Stein

ドイツ料理の店
リヒテンシュタイン

神戸市生田区山本通2-31-2
TEL (078)222-2191番



女は、着るもので秋の詩をつづる。

FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ・センタープラザ3F

- (トータルコーディネートファッション) LIZA SALON
- (婦人服飾) 東京屋
- (舶来靴専門店) Pia
- (アクセサリー・雑貨) ルイ・ミッシェル
- (ジーンズショップ) AOYAMA EIKO
- (COLLEGE SHOP) CABIN
- (婦人ブティック) ラ・ガミヌリー
- (婦人靴) 東京銀座ダイアナ
- (ヤング & アダルトファッション) ルベール
- (ヤングアダルトファッション) ランプ
- (ファッションバッグ・アクセサリー) 美呂
- (婦人服) 藤宿CAN
- (婦人服) 銀座ケルラン
- (レディース・ファッション) 新宿高野
- (おしゃれな靴の店) BON フカヤ
- (コンテンポラリーファッション) サ・コレクション
- (レディースファッション) 東京ギンザ三愛

世界の一流品を求めて...

'78ファッションショー

●世界の毛皮と服飾
ゲスト/岡田 真澄
ところ/オリエンタル
ホテル大ホール
とき/9月4日



ロンドンの霧と雨が生み出したバーバリー・タルファッション

エレガンスその他2割安



boutique

ニューボーン

伝統を誇るクリスチンセン・ミンクコート(デンマーク)
華やかな色調、レオナールド(パリ)



豪華なフォックスコート・ニナリッチ(パリ)
気品を秘めたマキシ・レオナールド(パリ)

〒650/神戸市生田区中山手通1-115
生田神社東門筋/TEL (078)331-5016

☆私の意見

神戸に モンマルトルを

貝原 六一

△洋画家△



神戸の文化について語るとは少々難しいのですが、私がかねがねいつているのは、神戸にモンマルトルをつくれということなんです。美術館とかギャラリーとかがもっと欲しいわけですが、単なる建物ではなくて、たとえば、東遊園地のような既成の公園を青空画廊として開放するというのが望ましい。アマチュアからプロまで自由に自分の作品を発表し、誰でもが自由に見て回れる。そういう自然発生的な拠点が欲しいし、行政の方にもお手伝いをお願いしたいですね。

昨今、いわゆる文化教室というものが各地にたくさん出来ていますね。ところが、どこへ行っても同じようなことをやっているわけです。それらを整理した文化センターが必要じゃないでしょうか。たとえば、兵庫区では美術関係を教える。そこへ行けば版画、油絵などとにかく美術に関する一切が分るようになっていく。灘区では生活文化に関することをやる。ということがそろそろ考えられてもいいんじゃないでしょうか。

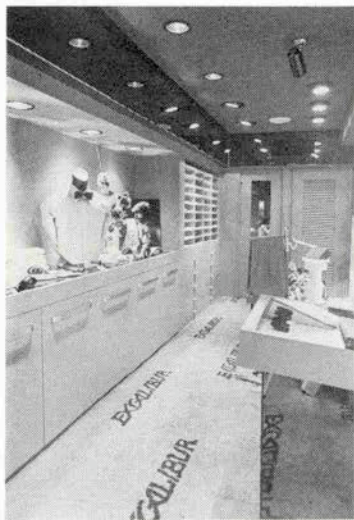
ところで、生活文化のないところで芸術文化を語っても、これは意味がないですね。文化人も積極的に地域社会の活動に参加しないとイケない。神戸の文化人は大体まとまりがいいですから社会参加という形をとれば、そこから何か神戸らしさが生まれて来るのじゃないですか。小説家にしろ絵画家にしろ、自分の枠のなかに閉じこもっているのは駄目です。たとえば神戸まつり。私も芸術広場を担当していますが、ああいう形での地域社会への参加もあると思います。

神戸は古くから東西文化の接点であったわけですが、そこから神戸独自の生活文化、芸術文化が生まれて来ました。余り意識をしていないこと、たとえば、コーヒーを飲むということもずいぶん早くから一般の生活に入っていました。港あり山あり、外国人が常に身近かに住んでいたということが、神戸人の生活感覚のなかに知らず知らず影響を及ぼした。それが神戸の文化の土壌なんです。今後共、神戸らしさの追求が必要ですね。

(談)

こうべに神戸らしい店を...

KOBE
NIKKEN



店舗装備のプロフェッショナル
(株) 神戸日建

本社 神戸市葺合区御幸通3丁目2-20
〒651 ☎ (078) 251-3525 (代)
東京 東京都中央区日本橋3丁目2-17
営業所 ☎ (03) 278-1369番

「エクスカリバー」(三宮サンプラザ3F)

随想

演出家を

追って

竹内 広光

△写真家▽



私がヅカの影の主役達(演出家)を追いかけて稽古場に入入り始めた頃、周囲で見ていた人達はさ



《私とヅカジェンヌ》写真・竹内広光

ぞかし『おかしなヤツが来たものだ』と思われた事だろう。ヅカのファンなら数え切れない程いるがヅカを撮ろうと思う人は、プロ、アマを問わず、大体華やかなステージ風景や、美しいスターたちを狙って舞台に通う。それなのにある日、ひょっこり見慣れないカメラマンがやって来たと思ったらそれ以来、毎日のようにやって来て稽古場にのそのそ入り込み、女の子達の視線ものかは、並みいる大スターにも背中を向けて、とんでもない所でパチリ、パチリ……。それもその筈、初めの内、このカメラマンには男役と娘役の区別はおろか、スターと研究生との区別さえもつかなかったのだから：(熱烈なヅカ・ファンに見られたら死刑ものだったかもしれない)それにこのカメラマンのお目当てはスターではなく、演出家諸氏の仕事ぶりにあったのだ。(これでは死刑は免れない?)

さて、一口に演出家を撮ると言っても、何しろ個性の強い人ばかり。稽古場の雰囲気もそれぞれ違う。例えば『夕陽のジプシー』の稽古場。一面鏡張りのレッスン場のど真ん中に椅子が一つ。内海重典氏がどつかと座り、ミラーに向って踊るスター達を指導する。一歩も動かない。これには困ってしまった。大変失礼な言い方だが給

にならないのである。申し訳ないとは思ったが、「振りをつけて下さい」とお願いしたら、快くOKが出た。それからというものの、私がカメラを向ける度にすつくと立ち上って色々と「演技」して下さるのには大変「助けられ」た。

内海氏の演出が大阪フィルハーモニーの総指揮者の感があったのに対して、柴田侑宏氏のそれはさしずめ精神演技。『星影の人、あかねさす紫の花』稽古場では、振りから台詞回し、効果など実に細かい所まで気を配って、テキパキと動き回る。太刀一つ持つにしても、視線の移し方にしても、本来が娘盛りの女の子のことだから線が細くなることもある。柴田氏はそれを許さない。いや、許せないのである。手とり足取り、一つ一つ静かな口調で言い聞かせて、彼女たちがその役になり切るまで徹底的に指導してゆく。聞いて見ると柴田氏はシナリオ書きから始めて一つの舞台を創り上げるということだった。阿古健氏は男性的、植田紳爾氏の場合は繊細で都会的なムードでレッスンが進められたし、横沢秀雄氏は音楽、小原弘亘氏はミュージカルを手掛けると右に出る人は少ないと聞いた。

七カ月という月日は、ヅカには無縁のシロウトが、台本片手にカメラを構えるという悪戦苦闘の連

続ではあったが、思いのほか早く過ぎた。そして今ではもう江夏子さんと安奈淳さんとを間違えることもなく、結構いいカオである？それ所か、あの舞台はどうのこうのといっぱしの口をきいて、楽しむことが出来るまでに……？どうやらツカ・フアンがまた一人増えたようだ。

ハンガリー

旅行記

榎 忠

△前衛美術作家△



例の税関検査を無事通過しようとした時、帽子を脱げと命令されおもむろに取るとドキッとした表情を後に海外へと向う。パリに着くなりホテルの風呂に入る。掛け湯をして入る癖があるのでトイレと風呂場はビシヨビシヨ。パリからブリュッセルを経てデュッセルへ。国境が変わるごとにその国の車掌とパスポートの検査員は、私共の風体を見て荷物をこまごまと調べ、最後にはニコッと笑うことをわすれない。

デュッセルに着き我が友人植松

奎二氏に電話。私が来ていると言っても信じない、「ウツヤールンヤー長田から電話しとんやろ」そのうち納得。ベンツで迎えに来るとのこと。待っているとさすがドイツ、二輪車のベンツである。二年ぶりの対面。外人ばかりの中からベンツにまたがり手を振っている光景は妙な気がした。和チャン（植松氏のルームメイト）が私共を心よく迎えてくれた。

ライン川のすぐ横の静かな古い住宅街に至チャンの広いスタジオがある。九月にデュッセルの美術館での個展とか、元氣一パイの彼。夜は美術館だとか作家の話など日本にはない夢のような話を聞く。そして実際にこの目で見てくる。彼の作品に囲まれたスタジオの真中でベッドを作り、夜な夜な私の願望がまざった夢を見た三日間。そしてカッセルの町へと出発。ここで四年に一度のドクメンタ展がある。今年で六回目。三つの会場と野外、すごく広い所だ、この辺まで来ると日本人をあまりみかけないのか、作品より私を取り囲



西ベルリンにて・榎夫妻

んでカメラ、8ミリなどの撮影。ちよっとした人気である、その光景をルームメイトが8ミリにおさめてくれる気のききよう。

そして西ベルリンへと、また汽車の旅。東ドイツを通過の際は映画でみるような拳銃、列車の窓の外は見張台から自動小銃で睨みをきかしている。私の顔を見てニコッとしめない人達は初めてである。パスポート検査の時など写真とお前さんの顔と違うといって怪しまれ、緊張している間に西ベルリンに入る。

ハンガリー大使館へビザの申請に行くと、「ブラハ経由の汽車で行くと貴殿の頭はチェコには入れない、入国する時は頭の毛を切らねばならない」しかたなく飛行機でブタペストへ。東ベルリンの空港の検問もなんとか通り抜けてハンガリーに着いたものの言葉は全然だめ。町に出て来たのはよいが暗く機関銃を持った兵隊を横目にしながらのホテル探し、食事に出たがノドを通りそうもない、ビールを飲んで腹をごまかす。

ウインに行く汽車の中でアンソニークインみたいなオッチャン夫婦に自家製のケーキとか香水等をもらう。おれに百円ライターをあげると飛びあがっての喜びよう。汽車の中で色々な人に私の頭のことを説明したが全然アカン。ハン

ガリーでは MAGYARORSZAG
「マジガル」ガツカリ。パリに帰
り、ボンビドーセンターで若い女
性達に囲まれ頭の事で質問されサ
インをしてくれと頼まれる。

空港のコワイ検査員も笑ってノ
ーチェック同様の国もあった。恥
ずかしながら私のサイン入りプロ
マイド写真を各国の人々に渡して
きた。まったく珍道中でした。

神戸の イメージ

安藤 忠雄

△建築家△



港街・異国情緒・国際都市・坂
道・異人館等々、現代人好みの楽
しげな言葉が並ぶ神戸の街は、港
街ゆえの文化的開放性に加えて、
山と海の近接から生れる坂道の多
い地形により、視覚的にも開放性
のある街である。こうした背景を
よくあらわしているのが、トアロ
ードであろう。現在はどこにでも
あるようなビルが建ち並び、往時
のイメージはやや薄れているが、
今でもトアロードを歩けばアメリ
カンファーマシー、マキシン、デ

リカテッセン、コロンバン等々、
生活に根ざしたファッショ性の
高い確かな商品を、解る人に売る
特徴のある店が目に入る。店はい
ずれも神戸の異国情緒を包むセン
スの高い文化性を持っている。そ
して各店は坂道にフィットし、個
有のファッショ性を持つと共に
地域サービスという役割をも果し
店舗内容が「神戸的」であること
に加えて、表情豊かな個々のファ
サードは街路景観上も「神戸的」
であると言える。こうした店は
パンのフロインドリーブやにしむ
ら珈琲など、神戸には数多く見ら
れ、いわば神戸の街のイメージの
原点を構成していると言える。つ
まり神戸の街というのはこうした
「神戸的」イメージが街なかに点
在し、個々の表情を持ち、それら
が生み出す街の流れが神戸の全体
像を構成してきたのだと言える。
言い換えれば、全てが部分となっ
て、神戸を造ってきたと言える。

北野町は、神戸における最も神
戸的な所である。海の見える坂道
そこに点在する異人館、カトリッ
ク教会、イスラム寺院、三宮に近
く外人居住者の多い山手の閑静な

住宅地など都市が持つユートピア
志向の快適性を持っており、土地
に内在する特性によってすでに神
戸のイメージを持っている。しか
し現在、北野町周辺は乱開発が進
み、マンションや、低劣なホテル
が建ち並び、それらが従来の特性
を殺し、街の個性を消失しつつあ
る。

ローズガーデン、現在工事中の
北野アレイの設計にあたってはこ
うした神戸の、そして北野町のイ
メージを継承し、発展させること
を計っている。それは緩やかな斜
面の地形を生かし、街並に適合す
る低層の建物、地域景観の考慮、
海への眺望を獲得し、坂道にフィ
ットし、神戸のイメージを建築と
いう形を借りて神戸の街に提出し
ていくことにある。それが、かつ
ての異人館が、建築を創る側も、
住み手も、そして更に周辺の地域
住民もが、個人的にも、街として
も、それを軸にして、快適さを共
有していたことと同様に、トータ
ルな環境としての街の楽しさを生
み出していくことになる。そう
した意味で、ローズガーデンも、
北野アレイも、単に建築単体にと
どまらず、個人的表情を持ちつつ
街に表情を与え、街の快適さを有
し、神戸を構成する確かな部分と
なっていくであろう。

私は、今後も、一つ一つの建物
に神戸のイメージを盛り込んでゆ
き、時間を経ても味わいのある、
時間に耐えるものを建てることに
より、建物と街を結びつけてゆき
たいと考えている。

□ある集いその足あと

神書会

清水 晏禎

△海文堂書店取締役営業部長△

戦後立ち直り復興のシンボル、ジュラルミン街として全国的に神戸元町を謳歌していた頃と追憶するが、同じ元町の老舗書店先代経営者グループがいつ誰ということもなく、先見の見地から自衛と発展を図り、相互に横の連絡をとりながら、近代的書店の基礎づくりに努力し合おうではないかと当時名称も元町書店会として発足結成されたのがそもそも今日の神書会グループの生誕である。



出版社との交歓会風景（昨年、東京の日本出版クラブで）

その当時のメンバーは、丸善、海文堂、宝文館、日東館で、その後漢口堂が加わって、神戸の読書ファンにその中心的存在として利用されてきた。やがて市役所の現在地への移転やさんちかタウンの完成、ショッピング街、レジャー施設の拡充などによって都市圏も変化し、これに呼応して、グループ体質も多店化など大きく成育してきた。

さんちかコーベックスの参加をはじめ、神戸新聞社の提唱、協力もあって、読者の立場にたつての読書人口拡大のキャンペーンを強力にすすめる、姫路・三耕堂、加古川・詳文館、明石・木村書店、垂水・文進堂、長田・百文館と主要拠点にそれぞれ個性豊かな有力店の代表格に参加を求め、書店界にとって画期的な組織づくりを生み出した。

神書会は、毎月一回、トップ陣により例会を開催し、広告活動の反省、立案、読者に対するサービスの事項から情報の提供交換など盛りたくさんの議題の消化解決に常に前向きな姿勢で討議を重ねていく。

本はタバコと同じで、どこで求めても中身の味は変わらない。従ってサービスとは何かというマクロの究明を目して、一歩一歩体質の改善をはかっていかねばならな

い。四十才代が年長陣という若いリーダーシップも大きい力の一つだろう。

瀬戸の魚、宮水の酒、但馬の神戸肉を楽しみ、時には洋上に釣舟を浮かべ、釣糸を垂れ、また六甲山上でジギスカン料理に舌つづみをうち、と、この方面も他聞にもれず活発である。

とにかく新風を吹かせ、ますます個性ある会として、読者へひと味ちがうサービスをおしすすめる次第である。

全国の出版業界のなかでの神戸という片すみにあって、常に読者に満足してもらえするための足跡を残せるよう、地に足のついた仕事をやろうということが今現在の神書会の歩み方である。

■神書会

コーベックスさんちかタウン

〒391-4749

日東館 大丸前山側

〒391-8701

丸善 元町通1

〒391-6001

海文堂 元町通3

〒331-6501

宝文館 元町通5

〒341-0541

漢口堂書店 兵庫区荒田町

〒511-3566

秋田百文館 神戸デパート前

〒611-4369

文進堂書店 垂水駅東口銀座通

〒708-0246

木村書店 明石市銀座商店街

〒078-9111

詳文館 加古川駅前

〒079-4222

三耕堂 姫路駅前通り

〒079-2182

（ただし本店のみを記しています）

あなたのサロンに
なさいませんか

オリエンタル レディスクラブ

会 員 募 集 中

- この会はオリエンタルホテルをご愛顧下さる女性
によって組織されます。
- 会費はお1人年間10,000円（ホテル利用券5千円
を含みます。）
- ご入会と同時に会員証を発行いたします。
- オリエンタルホテル・六甲オリエンタルホテルをご利用の際、10%の割
引がございます。その他いろいろ特典がございます。
- 随時会員だけの特別企画（海外旅行、国内旅行、たべ歩き会、料理講習
会……）レディスクラブにふさわしい催しを主催いたします。



詳しくは

オリエンタルホテル 内 レディスクラブ事務局

神戸市生田区京町25 ☎ (078)331-8111